

島根県立大学 松江キャンパス発

地域研究と 教育

vol.
8



「地域研究と教育 Vol.8」

はじめに

島根県立大学松江キャンパスは、平成30年に4年制大学の人間文化学部(保育教育学科・地域文化学科)が誕生し、短期大学部(保育学科・総合文化学科)とあわせて全2学部4学科となりました。令和元年現在、全教員48名と職員とで、それぞれの専門領域において、研究・教育、ならびに、教育支援にあたっています。

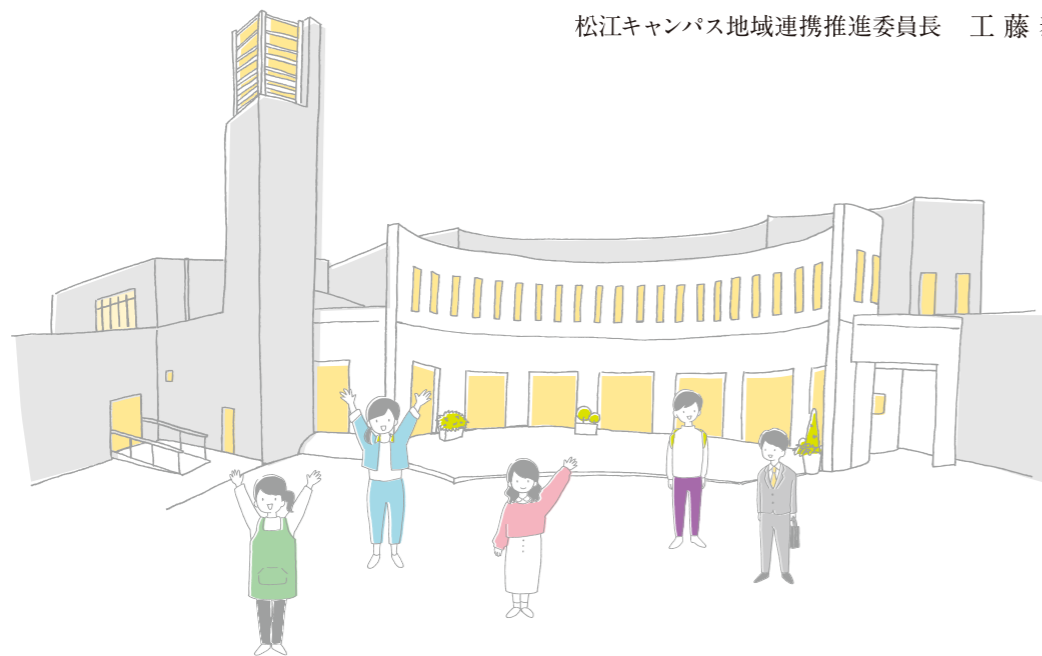
本学では、今までにも地域貢献を目指した様々な取り組みを行ってきましたが、新しい体制の下でカリキュラムを一新、また、新たな教員が多数加わったことで、これまでと異なる新しい形での地域と連携した活動にも取り組んでいます。

この「地域研究と教育」は、平成24年度の創刊で、各教員の研究・教育活動、なかでも「地域」に特化した内容を、キャンパス独自に発行しているものです。このたびの「地域研究と教育Vol.8」には、本学教員の近年の研究と、各学科の特徴的な教育活動を中心に、わかりやすくまとめてあります。

これからも、島根県の公立大学として、地域の将来を担う人材の育成、研究を重ねてまいります。地域の皆様には、どうぞ更なるご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和2年3月

松江キャンパス地域連携推進委員長 工藤 泰子



CONTENTS

2	教育連携の拡充
2	しまねの文化を学ぶ 全学共通「しまね文化論」
3	客員教授による講演会
3	公開講座「椿の道アカデミー」
3	しまね地域マイスター制度(人間文化学部)
4	第46回ほいくまつり
5	隠岐の島発! 離島の魅力を全国の特別支援学校へ
5	教員養成校における音楽教育プログラム「おながくとあそぼう」の取り組みについて
6	小学校での「図画工作」特別授業
6	障がい者アート作品による障がい理解拡充に向けた研究
7	安心・安全な児童福祉施設環境の構築に向けた連携
7	里親支援に向けた取り組み
8	地域を知り考えるための教育 [地域文化論Ⅱ(出雲)]
8	地域を知り考えるための教育 [Kid's English]
9	地域を知り考えるための教育 [しまね図書館学]
9	地域を知り考えるための教育 [観光まちづくり演習]
10	地域を見つめる多様な研究 [出雲の神話・伝承についての研究]
10	地域を見つめる多様な研究 [石見地方にある伝統的建造物群保存地区の瓦屋根研究]
11	地域を見つめる多様な研究 [海士町における民具の保存と利活用に関する研究]
11	地域に密着した教職課程 [「しまね寺子屋」での学習支援活動]
12	キッズランド・キッズシアター2019
13	声楽研究分野における地域貢献活動
14	島根県との連携
15	雲南市幼稚園、保育所(園)、認定こども園職員研修会
15	島根県スポーツ・レクリエーション祭
16	フィールドワークへのいざない [総合文化学科研修計画Ⅰ]
16	フィールドワークへのいざない [総合文化学科研修Ⅱ]
17	島根の魅力を英語で発信 [文化とガイド]
17	地域の文化を取材して紹介 [文化情報誌制作]
18-19	公開講座「椿の道アカデミー」開催状況
19-20	教育課程のための地域の施設・機関との連携
21	授業における連携
21-23	地域志向研究活動一覧
23-25	地域志向教育活動一覧
26-33	地域連携(貢献)活動の取組状況



保育教育学科



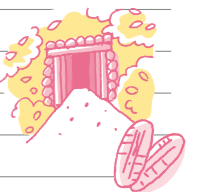
地域文化学科



保育学科



総合文化学科



教育連携の拡充

令和元年度、松江キャンパスでは県内高校との教育連携に特に力を入れてきました。出雲高校、大社高校、横田高校、松江市立女子高校、大多和学園開星高校からの依頼を受け、本学教員は高校生に対し、講義や課題研究の指導・助言を行いました。

また、近隣の小学校、幼稚園、幼保園においては、本学学生による絵本の読み聞かせ、イベントの手伝い等も引き続き行い、多彩な形で地域の教育機関と連携交流をはかっています。

しまねの文化を学ぶ

全学共通「しまね文化論」

松江キャンパスでは、全学生を対象とした「しまね文化論」を開講し、島根県が有する豊かな特色ある文化について、各回のテーマに相応しい専門家をお招きし、ご講義いただきました。さらに、世界遺産石見銀山のフィールドワーク実施の際、グループに分かれて現地を見学したことで、座学で得た知識を一層深めることができました。



◎ 外部講師一覧

神々の国しまね(1) (出雲大社)	千家和比古氏(出雲大社権宮司)
神々の国しまね(2) (神話)	錦田剛志氏(万九千神社宮司)
しまねの日本遺産(たたら製鉄)	井上裕司氏(株式会社田部たたら事業部次長)
しまねの世界遺産(石見銀山)	仲野義文氏(石見銀山資料館館長)
しまねの自然	中村唯史氏(島根県立三瓶自然館)
しまねの地質遺産	野辺一寛氏(隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会事務局長)
しまねの国宝(松江城)	ト部吉博氏(元松江市松江城調査研究室長)
しまねの食文化(1) 松江の茶文化	中村寿男氏(中村茶舗代表取締役)
しまねの食文化(2) 次世代への継承	景山直観氏(一文字家社長)
しまねの伝統芸能(神楽)	藤原宏夫氏(島根県教育庁文化財課)
山陰の文化の魅力	アリス・ゴードンカー氏(ジャーナリスト)
しまねの文化の拠点・発信	しまね文化振興財団
松江藩士山口家	新庄正典氏(松江歴史館)

客員教授による講演会

令和元年度も各学科で客員教授による講演会を実施し、椿の道アカデミー会員や一般に公開しました。各学科の客員教授講演会の概要は以下のとおりです。

○人間文化学部保育教育学科・短期大学部保育学科
日 時：令和元年8月8日(木)
テーマ：「児童になる」とはどういうことか
－学校的社会化の視点から－
講 師：立教大学名誉教授 北澤 毅 氏

○短期大学部総合文化学科
日 時：令和元年11月6日(水)
テーマ：「英語で歌う日本人アーティストの変遷」
講 師：ミュージシャン・プロデューサー 日高 央 氏
(THE STARBEMS)

○人間文化学部地域文化学科

日 時：令和元年12月4日(水)
テーマ：「先入観との戦い」－島根だからこそ解ること、学べること－
講 師：映画監督・脚本家 錦織 良成 氏

公開講座「椿の道アカデミー」

平成4年度から開催している松江キャンパス公開講座「椿の道アカデミー」は今年度で27年目に入りました。学内外の様々な専門分野の講師陣による講座は、社会や受講者のニーズを映した内容となっており、地域に関する文化・歴史・福祉・コンピュータスキル等の計16講座を開催しました。

(参照：P18開催状況表)



しまね地域マイスター制度(人間文化学部)

松江キャンパス人間文化学部は、学部設立と同時に「しまね地域マイスター認定制度」を開始しました。

地域の諸課題を自主的に探究し、各学科で定めた要件をすべて満たし、優秀な成績を修めた学生に対して、卒業時に「しまね地域マイスター」の称号を授与します。本制度は登録制で、すでに多くの学生がマイスター取得を目指して学業に励んでいます。



第46回ほいくまつり

● 全人的な保育・教育者の養成を目指して

保育教育学科では、島根県民会館大ホールに1,500人の子どもたちとその保護者を招待して「ほいくまつり」を毎年開催しています。「ほいくまつり」の取り組みは本学独自の1・2年生必修科目「表現研究」の一環として行われます。1・2年生全員が舞台系、裏方系など10のパートに分かれて取り組みますが、週に2回の授業時間だけでなく、ほぼ毎日、放課後残って自主的・自治的活動を行うことになります。

学内で何度も繰り返すリハーサルでは、全員で意見を交換し、子どものための表現活動について考えます。保育士、幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭など、将来子どもにかかわる者にとって必要な子ども理解を深めていくのです。その過程の中で、入学まで一人ひとりが培ってきた力を発揮できるとともに、協力することの大切さを学び、感性を磨いていくことができます。

本番当日、子どもたちの笑顔に出会うことは最高の感動ではありますが、同時に取り組み過程そのものを体験することで、将来保育・教育に携わる者に求められる力と自信と夢を獲得してもらいたいと思います。なお、島根県民会館での開催にあたり、会場設営や当日の進行は、公益財団法人しまね文化振興財団との連携で行われています。



全てが
手作りである



保育教育学科学生1・2年生全員参加で、歌唱、影絵劇、劇、大道具、小道具、司会、音響効果、照明、衣装、広報記録の10パートに分かれて取り組んでいきます。1・2年生が縦割り組織の中で、リーダーシップとフォロワーシップを学びます。なお、その全てが手作りで進められます。

「子ども主体」の
発表プログラム



歌唱や司会では馴染みのある歌や遊びを、影絵や劇では絵本や紙芝居等で見聞きしたことのある題材を取り上げ、子どもが普段園や家庭で経験する内容を含むよう計画しています。子どもの日常の延長上に位置づけ、舞台を見ながら自分も真似をしたり歓声をあげたりしながら参加できる内容を企画するからです。また発表内容だけでなく、企画・運営から子どもとの触れ合いまでの全過程で。子どもの視点第一に考えています。



1・2年生で行う
インパクト



このような発表活動は通常、学びの集大成として卒業前に開催されますが、本学では1・2年次の6月に実施しています。これは「ほいくまつり」の取り組みによって、その後の専門的学修に強い動機と意欲を得られると考えているからです。1年生は、入学間もない時期に保育・教育の持つ責任、難しさ、喜び、夢に出会うことになり、2年生は、3・4年次につながる基礎力を養い、表現力と自信を獲得することになります。「ほいくまつり」は保育・教育を深く学んでいくためのきっかけであり、始まりなのです。



隠岐の島発！ 離島の魅力を全国の特別支援学校へ



保育教育学科准教授 西村 健一

肢体不自由のある児童や生徒は外出に困難を伴いやすく、遠隔地で社会見学を行うことは難しい。そこで、県立隠岐養護学校と隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会とOKIワークウェル(東京都港区)と協力し、全国の肢体不自由特別支援学校9校(120人)向けにインターネット会議システムを活用した遠隔社会見学を2019年10月18日に実施した。

今年度は、県立隠岐養護学校の先生と学生がクイズなどを交えながら隠岐の魅力を発信したあと、隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会の野辺一寛氏より専門的な説明を行った。この取り組みはNHKなど全国のテレビや新聞に取り上げられ、大きな反響が寄せられた。



遠隔社会見学の様子



新聞報道の様子
2019年10月9日
山陰中央新報



教員養成校における音楽教育プログラム 「おんがくとあそぼう」の取り組みについて



保育教育学科講師 梶間 奈保

昨年度から本音楽教育プログラムは1年次の授業「音楽II」で取り組んでおり、様々な分野で教職を目指す学生が音楽を通して子どもたちと一緒に活動することで、教員としての実践力だけでなく、人と関わる喜びを感じ、大学生活においても豊かな人間性を育てていく機会として考えています。実践を通して学生たちは実際に教育現場の先生から活動の助言や子どもの関わり方に対する支援をしていただきながら学びを実感しています。

具体的な取り組み内容は、1度目の訪問で、日頃の生活の中で子どもたちと関わり合いながら子どもの様子を把握したり、子どもたちにとって音楽がどのような存在であるのか理解をします。この訪問体験をもとに、約1ヶ月の間、授業の中で「どのような音楽活動で子どもたちに楽しんでもらいたいか」をテーマにして活動計画をグループ内で練り、授業での模擬実践を経て、再び小学校等を訪問して実践をします。その後、自分たちの実践を分析し報告をします。学生たちの考える活動内容は、小学校教諭や幼稚園教諭、保育士等様々な職種を目指している学生が混在しているからこそ、多種多様なアイデアが生まれます。また、模擬実践では、「どのように改善すると子どもたちがもっと音楽を楽しめるのか」といった視点で意見を交わしています。学生にはこの取り組みを通して保育教育における音楽について多くの可能性を感じてもらいたいです。



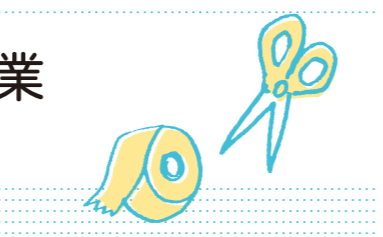


小学校での「図画工作」特別授業

● 文化庁派遣事業

保育教育学科准教授 福井 一尊

H28年から、文化庁『芸術家学校派遣事業』によって福井一尊准教授(美術教育学)が小学校等に図画工作科の特別講師として派遣されています。美術家としての一面をもつ福井准教授が小学校や美術館において「造形あそび」の授業を実施します。視覚、聴覚、身体感覚を存分に使った制作活動を通して、初等学校教育における「造形あそび」の意義や学習効果を示しました。色や形、光の美しさに気づける楽しい活動となり、現場教員を含めた参加者全員で、学びの実感を共有しています。



また、令和1年度には、小学生が制作した作品を岡山県立美術館に展示し、多くの来館者に楽しんでいただきました。アシスタントとして参加した保育・教育職を目指す学生にとっては、造形活動によって保育・教育を推進することの優位性について学ぶ機会となっています。保育・教育に対する自信と責任、そして夢に出会う活動です。



障がい者アート作品による障がい理解拡充に向けた研究

● 島根県障がい者アート作品展を通して

保育教育学科准教授 福井 一尊

「島根県障がい者アート作品展」(主催：島根県・島根県社会福祉協議会)の公開審査において、保育教育学科 福井一尊准教授が審査委員長として協力しています。県内全域から作品が寄せられる本審査会は関係施設職員の研修の場としても位置づけられており、多くの参加者との意見交換を交えながら進められます。作品は島根県立美術館にて公開され、毎年多くの来場者に楽しんでもらっています。



この取り組みは、県内における障がい者理解の拡充を目的としていますが、アートとしての訴求力を適正に評価し、公表することで作者の自立支援につなげるという大きな目標もあります。そのためH26年には、全国に先駆けて「障がい者アートを活用した商取引に係るガイドライン」を、福井准教授が委員長となり整備しました。

そして、H30年には、これまでの本取り組みをまとめ、障がい者アートの魅力を紹介する書籍「しまねの障がい者アート」(福井准教授 編著)を出版し、福祉施設、学校等において広く活用してもらっています。



令和元年の展覧会では、福井准教授が制作した、触って楽しむ作品「うつろい」を展示しました。本展が障がい者の発表の場だけでなく、鑑賞の場として楽しんでいただけるよう、新たな取り組みを行っています。



安心・安全な児童福祉施設環境の構築に向けた連携

● 島根県との連携事業

保育教育学科准教授 西村 健一



児童養護施設では児童虐待などを理由に家庭で生活することができない子どもたちが集団で生活しています。多くの子どもたちは住み慣れた地域や仲の良かった友達からも離れ、施設での新生活を始めることになります。そこに大きな不安が伴うことは容易に想像できます。施設職員はそのような子どもたちに寄り添い、愛情を注ぎ、子どもたちの育ちと生活を支えます。その時、最も求められるのが安心・安全な生活環境です。施設に入るまでの生活環境が不安定だったからこそ、最も大切なことです。そこで、島根県中央児童相談所と連携しながら、児童養護施設安来学園で月に1回の施設内職員研修を開催し、子どもたちが安心・安全に暮らすことができる生活環境のあり方について議論し、日々の実践に繋げています。



里親支援に向けた取り組み

● 島根県との連携事業

保育教育学科准教授 西村 健一



現在、日本では、親がいなかったり児童虐待などを理由として、約4万5000人の子どもたちが乳児院や児童養護施設、里親宅などで生活しています。これまで、このような子どもたちは施設入所することが多かったのですが、国は今後の方向性として、家庭と同様の養育環境で生活できるようにすることを目指しています。そこで、注目されているのが里親制度ですが、多様な背景をもった子どもたちの最善の利益を目指すには、里親家庭だけでは困難が伴うこともあります。そこで、島根県中央児童相談所と連携しながら、里親家庭が安心して子どもを迎え入れ、子どもを養育できるように年3~4回程度の里親支援研修会を開催しています。作年度からは学生の企画による交流会も行っています。





地域を知り考えるための教育

地域文化論II(出雲)

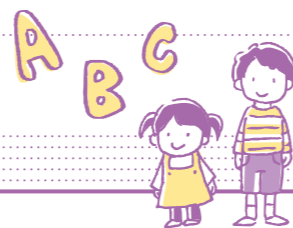
地域文化学科教授 工藤 泰子/准教授 杉 岳志/准教授 山村 桃子/総合文化学科准教授 キッド ダスティン

異文化理解、神話、歴史、観光を専門とする教員4名が、島根県の文化を「出雲」という視点で講義を行う科目です。神在月や出雲神話、神楽などを学んだ後、佐太神社・鹿島歴史民俗資料館への見学を実施しました。また神在祭が行われる万九千神社の錦田剛志宮司の講演により、神道文化が島根に根つき、脈々と継承されていると感じ取りました。さらに松江城、松平不昧を学習して松江城フィールドワークを行い、近現代に観光資源として活用される在りようについても学びます。出雲文化について英語で表現を試みることも、この授業のユニークな点です。「出雲」文化を時代にわたって学び、国際化時代にあってどのように魅力を発信するか、学生に考えるきっかけを与える授業になればと思います。



Kid's English

地域文化学科准教授 ラング クリス



地域文化学科2年生の科目「Kid's English」は、本学の絵本専門図書室「おはなしレストランライブラリー」等で、地域の子どもたちを対象に英語絵本の読み聞かせ・歌・アクティビティなどを発表するために準備と練習を行い、やさしい英語を使って子どもの興味を惹きつけながら交流する力を身に付ける科目です。

おはなしレストランライブラリーでは、日曜日の活動のほか、大学祭やクリスマスに合わせた特別イベントを開催し、たくさんのお子さんに来ていただきました。「はらぺこあおむし」で有名なエリック・カールの絵本の読み聞かせをしたり、アクティビティでは紙のトマト・レタス・ハムなど好きな具をはさんでサンドイッチを作ってもらったりと、お子さんたちには大変喜んでもらえました。また、10月から11月にかけては、松江市立乃木小学校で1年生から6年生までの各クラスで、朝の読み聞かせを行いました。今後も、地域の皆様に喜んでいただけるような教育研究活動を進めていきたいと考えています。



しまね図書館学

地域文化学科准教授 石井 大輔/講師 木内 公一郎



本科目では、地域の課題を解決または解決を支援する図書館サービスについて、本キャンパスが所在する松江市を想定した地域サービスの企画立案に取り組んでいます。地域課題の発見には、まずその地域の現状を知らなければなりません。授業では、松江市が策定する総合計画や市議会資料などの地方行政資料や地方統計資料の検索方法、先行事例の調べ方などの基本的な探索スキルを学びます。その上で、一人ひとりの関心のある課題をもとにグループを編成しました。「子育て支援」「生涯学習支援」「視覚障がい者の読書支援」「館内の設備(案内表示やトイレの配置)」などのテーマで取り組んでいます。取組成果については、ICTを活用したプレゼンテーションをおこない、企画内容を学生同士で評価、検討していきます。

また、本科目は司書資格の取得を目指す学生の他にも履修が開かれています。グループワークでは、一人ひとりが図書館利用者としての立場に立ち、また島根県外出身の学生は地元での経験も交えた多様な意見を交わしながら議論を重ねている様子が見受けられます。

授業は、平成31年に移転新設された松江キャンパス図書館の館内に整備されたラーニングcommonsでおこなわれています。無線LANが完備され、学生は情報端末(ノートPC、スマートフォンなど)を持ち込み、図書館内外の豊富な資料情報に常に触れられる環境の中で授業が展開されています。



観光まちづくり演習

地域文化学科講師 竹田 茉耶



「観光まちづくり演習」は、地域の歴史や景観、生業や生活文化をどのように観光に生かすのかをフィールド調査を通して考え、生活と観光が共存・融合した持続可能な地域づくりのあり方について理解を深める科目です。令和元年度は、地域文化学科の2年生10名が、出雲市平田町にある木綿街道をフィールドに調査研究を行いました。

木綿街道では、約20年前から住民の方々によって建物や町並みを保全・活用し次世代に継承する取り組みが進められています。昨今は、外国人観光客を含め、県内外から多くの人々が町並みの散策に訪れています。そうしたなか、私たちは、「どのように木綿街道の生活文化を守りながら、観光振興に取り組んでいくべきか」をテーマに、文献調査や木綿街道を訪れた人々へのアンケート、地域住民の方々へヒアリングを行いました。

ヒアリングでは、地域住民は、歴史的に価値のある建物だけではなく、かけ出しとそれにつながる船川や宇美神社などにも愛着を持ち、暮らしのなかで大切に間取りをもってきたことが分かりました。演習の最後に実施した現地報告会では、こうした調査研究の成果を地域住民の方々に報告し、木綿街道の観光まちづくりのこれからについて意見交換を行いました。





地域を見つめる多様な研究

出雲の神話・伝承についての研究

地域文化学科准教授 山村 桃子

島根県東部・旧出雲国は、出雲神話の舞台として有名です。イザナミが葬られたという比婆山、イザナギが黄泉国から往還する際に通った黄泉比良坂、スサノオが降り立った斐伊川の上流・鳥上山、オオクニヌシが鎮まったとされる大社など、多くの地点が県内にあり、その場所にも複数の説があります。

出雲神話は、『古事記』の中でも研究史が厚い分野であり、根の国はどこにあるのか、黄泉比良坂とはどのような坂なのか、などの議論も一時期は盛んになりました。私自身は現在、天皇神話とされる『古事記』において、「出雲神話」はどのような意味をもつのか、ということを考えています。

また、県内には古代の神話に基づいた地域伝承があちこちに息づいています。とりわけ斐伊川流域にはヤマタノオロチにまつわる伝承が多く、地域の歴史とともに変容した姿がうかがえます。そうした伝承の存在は、私も島根県に来て初めて知ったことでした。実際にその地に足を運んでみないとわからないことは多くあります。書かれた神話と、それらを受け止めて地域において育まれた伝承の双方に目を向けて、今後も研究と教育をすすめていきたいと思っています。



石見地方にある伝統的建造物群保存地区の瓦屋根研究

地域文化学科准教授 藤居 由香

住居学の一分野である地域居住学の科目「日本文化論Ⅰ(居住文化)」「地域文化論Ⅳ(地域資源)」「しまねのまちづくり」で扱う共通テーマが「瓦屋根」です。屋根面が平ら(陸屋根)では瓦は葺かず、斜め(勾配屋根)の建築構造にしなければ瓦屋根にはできません。瓦の考古学的研究は多数ありますが、屋根景観全体として捉えた都市計画の研究は少なく、地域特性の維持保全に寄与できる瓦の選択基準を検討する新機軸を目指しています。

瓦の景観色彩に絞ると、都野津層の土に釉薬(来待石の粉+水)をかけて焼成する石見地方産の「石州瓦」は「赤瓦」が有名ですが、先般焼失した首里城の赤瓦は赤土を焼成し発現する色で製造方法が異なります。また、「石州瓦」には「黒瓦」もあり、出雲地方産の黒瓦とは根本的な違いがみられます(詳しくは授業で紹介)。さらに近年は、「茶色」の石州瓦が売れ始めています。

文化財建造物の保護と、居住者の住宅維持の観点から歴史的町並み景観を保全する文化庁選定の重要伝統的建造物群保存地区は、島根県では津和野・大森銀山・温泉津の3ヶ所にあります。津和野町では、赤系統の複数色の石州瓦による「混ぜ葺き」が特徴です(写真参照:藩校養老館)。赤瓦が使われている伝建地区は山口県・鳥取県・石川県などに限られ、石見発の赤瓦文化伝播の可能性がります。



海士町における民具の保存と利活用に関する研究

地域文化学科講師 中野 洋平

松江キャンパス民俗学研究室では、島根県立大学しまね地域研究センタープロジェクト研究の一環として、「海士町における民具の保存と利活用に関する研究」を進めています。「民具」とは、生活や生業で使用するため、自分たちで造ったり、購入したものを改造したりした道具類です。例えば鍬や鋤などの農具、作業着や行灯といった生活用具などです。

これら民具は、私たちの生活や生業の特徴、変遷を理解するための資料として、これまで博物館などで積極的に収集されてきました。しかし近年、予算や人手の不足から、収集した民具を整理したり、有効に活用したりすることが困難となり、倉庫の奥で大量に「死蔵」されていることが全国的な問題となっています。

島根県海士町も例外ではありません。同町南端にある崎地区では、これまで住民有志により多くの民具が収集されましたが、その整理や今後の活用が課題となっています。そこで私たちは、海士町教育委員会と協働で崎地区収集民具の整理調査を進めています。令和元年度では、地域文化学科2年生の5名とチームを組み、夏休みを利用して5日間の民具整理合宿を行いました。対象となる民具は約400点で2年間かけて整理調査し、最後に崎地区の皆さんへ向け成果報告を行う予定です。



地域に密着した教職課程

「しまね寺子屋」での学習支援活動

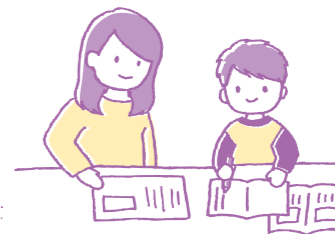
地域文化学科講師 古賀 洋一

地域文化学科では、2年生への進級時に、教職課程を選択することができます。現在、約20名の2年生が、教員免許を取得するための学びを進めています。

今年度からは、「しまね寺子屋」との協力体制のもと、地域の小・中学生への学習支援活動を始めました。これは、松江市島根町の教員経験者が指導員となって、学習塾がない町内の子どもたちに学びの場を提供し、学習の手助けを行おうとする取り組みです。夏休み、春休みの長期休暇中に、週3回開講されます。

令和元年度の夏休みには、国語の教師を目指す学生が参加させていただきました。最初は遠くから子どもの様子を眺めていた学生たちも、指導員の方々の姿を目の当たりにし、助言を受けることで、最終的には、子どものそばに寄り添い、目線を合わせながら支援を行えるようになりました。指導員の方々の子どもとの関わり方や教え方、関心をひきつけるための何気ない話し方。こうした所作の一つ一つが、大変参考になっています。

地域の教育に貢献し、地域の人々や先生方、子どもたちとの関わりの中で、学生が教師に向けた学びを進めていけるような仕組みづくりを、継続していきたいと考えています。





キッズランド・キッズシアター2019

● 学生の主体的な学びを目指して



保育学科教授 梶谷 朱美 / 講師 渡邊 寛智 / 講師 小林 美沙子 / 保育教育学科准教授 小山 優子

保育学科では、平成30年度より「保育内容演習I・II」の授業（通年）が新設されました。この授業では、地域の乳幼児を対象とした「キッズランド」「キッズシアター」の2つの取り組みを行っています。この授業では、“子どもたちのために創る”を大切に、子ども主体の保育のあり方を実践する中で学びます。また、学生が主体的に活動を進めて行く中で、保育内容を創り出す喜びを感じ、主体的に学ぶ姿勢を育てることを大切にしています。この主体的に学ぶ姿勢は、本学を卒業後、保育者として保育実践を進めて行く際に必要となる実践的指導力を高めるための素地となる大切な力です。

本年度は、新設の短期大学部2期生である42名の1年生が活動を行いました。昨年度、手探りで始まった1期生の活動をみることから授業が始まり、試行錯誤を重ねながら自分たちらしい活動を考えました。

新たな保育学科として、新しい伝統が少しずつ継承され始めています。



キッズシアター(12月22日開催)



キッズランド(10月19日開催)



声楽研究分野における地域貢献活動

● 地域貢献活動の可能性を広げて

保育学科講師 渡邊 寛智

声楽研究分野における地域貢献活動として、地域の音楽家のみなさんと交流し、演奏会に参加することで地域の音楽文化に貢献する研究活動を行っています。これまでに、年末に行われる第九演奏会のソリスト、地域で行われる演奏会への出演、子どもと家族の方が楽しめる演奏会の企画、構成、演出などを行ってきました。今年度は、山陰地方から少し足を延ばし、岡山フィルハーモニック管弦楽団のニューイヤーコンサート(指揮：ハンスイェルク・シェレンベルガー、オーケストラ：岡山フィルハーモニック管弦楽団)、ひろしまオペラルネサンス主催モーツァルト歌劇《魔笛》公演(指揮：川瀬賢太郎、演出：岩田達宗、オーケストラ：広島交響楽団)でザラストロ役として出演させて頂きました(写真中央)。今後も声楽研究分野における地域貢献活動を継続的に行う予定です。





島根県との連携

- 令和元年度スポーツ庁武道・ダンス等指導充実・資質向上支援事業& 島根県専門家・専門医による指導事業に係って～

保育学科教授 梶谷 朱美



第55回島根県学校ダンス指導者研修会

- 7月26日 大田市仁摩農村環境改善センター

島根県学校体育研究連合会では、毎年7月末に幼児教育、学校教育、社会教育関係者を対象にしたダンス研修会を行っています。校種を超えた受講者が、ダンスの楽しさを体感しながら発達段階に応じたダンスの効果的な学習指導法を研修します。この研修会は毎年県内各地で開催され、その地域の教員、保育者が参加することが大きな特色となっています。今年度は大田市で開催され県内各地から120名の参加がありました。平成15年度からフォークダンスの講師を務めるとともにダンス研修部会のアドバイザーとして指導、助言を行っています。



令和元年度中学校体育教員武道・ダンス研修会

- 9月26日・27日 松江市総合体育館

島根県では、平成27年から中学校保健体育教員を対象に武道とダンスの指導法に関する実技研修を実施しています。昨年度から「知識・技能アウトプット型」の研修プログラムを開発し研修に導入しました。今後も体育科教育学の理論をもとに模擬授業を導入した研修を推進し、指導案を構想し実践する力を育てるためのダンス研修の充実に取り組みます。



令和元年度島根県学校ダンス授業研究会

- 12月12日 大田市久手小学校「表現」2年生
- 1月16日 大田市北三瓶中学校「ヒップホップ」

島根県では、平成27年度より体育科ダンス学習における指導者の資質向上を図るために小・中・高等学校で研究授業を行いダンス学習の研究を深めています。現代的なリズムのダンスや創作ダンスの単元構想や学習内容、指導方法などについての指導助言を行っています。

浜田市学校体育研究連合会学校ダンス部実技研修会

- 8月5日 浜田市立国府小学校
- 益田市教育研究会保健体育部会研修会
- 1月17日 益田市立安田小学校

小・中学校の教員を対象に、ダンス学習の系統的な指導方法や子どもの発達に応じた単元構想やグループ学習の進め方、作品の見せあいの方法などについて実技指導を行いました。

第15回松江市小学生表現運動発表会・研修会

- 11月20日 島根県民会館

発表会の講師として子どもたちに直接作品のよさを伝えます。また、発表会は教員の研修の場としても位置付けられており、作品を映像で振り返りながら多くの教員と意見交換をしてダンス学習の意義や指導法について研修を深めています。

令和元年度島根県専門家・専門医による指導事業

- 12月5日 雲南市立西日登小学校「健康教室」

「親子で仲よく体でいっぱいお話ししよう」をテーマに簡単な運動を行うことを通して、心と体の関係や心身の状態に気づいたり、いろいろな人と積極的に関わったりすることの大切さを親子で一緒に学んでいきました。



雲南市幼稚園、保育所(園)、認定こども園職員研修会

- 「学生と保育者のための運動遊びハンドブック」を活用した保育者研修会 ～語り合おう・学び合おう・取り入れよう～

保育学科教授 梶谷 朱美 / 連携研究者(機関): 雲南市教育委員会・雲南市子ども政策局 藤原 洋子
身体教育医学研究所うんなん 西川 喜久子 / のぞみ保育研究設計研究所 野津 道代

雲南市では、「保育者の役割について～運動遊び事例を通して～」をテーマに、昨年度発刊した「学生と保育者のための運動遊びハンドブック～感じて、気づいて、考えて、子どもと共に創る運動遊び～」を活用した保育者研修会が行われ、講師として参画しています。KJ法を取り入れた保育研究・研修として、保育者が事例を読み込んで捉えた子どもの心身の発達や経験している内容を保育者自らの保育をふりかえりながら整理、分析、考察を行う研修です。今後、このような研修会を通して、ハンドブックを活用した研修方法を確立し、学生や保育者が子ども理解をすすめる、保育者の役割を学ぶ汎用的な研修方法を構築しようと考えます。



島根県スポーツ・レクリエーション祭 (島根県東部地区フォークダンス大会)

- 学生とともに県大の魅力を伝えるダンス活動

保育学科教授 梶谷 朱美

フォークダンス大会が本学の体育館アリーナを会場に7月7日開催され、講師として指導を行いました。保育学科と総合文化学科の1年生67名を含む300名以上のダンス愛好者が集い、朝ドラのテーマソングや日本民謡、懐しのフォークダンス等で世代を超えて交流しました。デモンストレーションとしてダンス同好会の発表もあり大好評でした。地域の皆さんに県立大学や学生のよさを感じていただけたと思います。今後も、このような機会をもち県立大学の魅力を地域に発信していこうと思います。



フィールドワークへのいざない



● 総合文化学科 研修計画 I

総合文化学科 教員

1年生の夏季休暇中に大田市大森町で実施する2泊3日のフィールドワークに向け、フィールドワークや文化資源に関する基礎知識と、石見銀山および大森町に関する予備的な知識を身につけます。その上で、大森町の歴史・社会・文化について、問いを立て、その問いに対する仮説と検証方法を考えます。



● 総合文化学科 研修 I

総合文化学科 教員



1年生の夏季休暇中に大田市大森町で2泊3日のフィールドワークを行います。「総合文化研修計画I」で作成した実施計画案に基づき、グループに分かれて、聞き取りを行ったり、調査したりしながら、仮説を検証していきます。実際に検証していく過程で、人とのコミュニケーションの難しさを実感したり、仮説や検証方法の甘さ・未熟さに気づいたりします。このような体験が今後の学びの刺激につながります。

本研修を通して、学生たちはフィールドワークの楽しさや難しさを体感します。また、実際に様々な体験を通して、地域の社会や文化に対する興味・関心を高めていきます。



島根の魅力を英語で発信

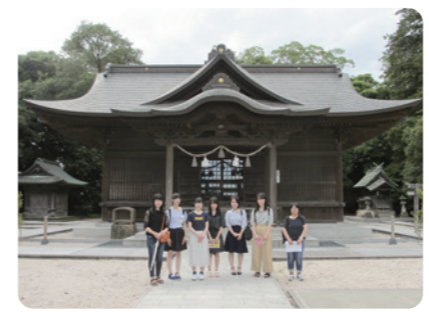
● 文化とガイド

総合文化学科 准教授 キッド ダスティン

松江を中心に真に、山陰両県の観光スポットを英語で効果的に説明できるようになることを目標とし、そのために必要な語彙や情報を学びながら、山陰の文化や歴史の知識を深めます。また、ガイド実践などを通して、実際のガイドに役立つレベルのコミュニケーション能力と英語の語彙・表現力を向上させます。



A B C



地域の文化を取材して紹介

● 文化情報誌制作

総合文化学科 教授 山根 繁樹 / 非常勤講師 大塚 茂 / 鹿野 一厚



総合文化プロジェクト科目群に属する文化情報誌制作では、山陰地域の小さな文化を探し、取材し、小冊子の制作を行います。これは、2016年度まで発行されていた「のんびり雲」の後継誌を作るものです。学生が記事として紹介したいことをアイデアとして出し、企画を練ります。企画が通れば、取材対象にアポイントを取り、取材をして記事を書き、写真とともにレイアウトをします。地域で活動されているさまざまな人との関わりをとおして、地域の文化に携わる方の思いを感じる授業です。



公開講座「椿の道アカデミー」開催状況

Nº	講座名	開催日	講師	受講者数	
1	総合文化講座（全7回）	ことばのバリアフリー：やさしい日本語	6月5日	高橋 純（地域文化学科）	94
		万葉集のことば：額田王と人麻呂の歌	6月19日	山村 桃子（地域文化学科）	
		小泉八雲と白樺派の人々	7月3日	小泉 凡（名誉教授）	
		図書館情報学と地域社会	7月17日	木内 公一朗（地域文化学科）	
		法律と文化：著作権法と図書館の目的	9月25日	石井 大輔（地域文化学科）	
		アメリカの視点から見た日本	10月16日	ラング クリス（地域文化学科）	
		出雲文化とフォニックス	11月13日	ダスティン キッド（総合文化学科）	
2	出雲神話の語る神話・伝説（全5回）	国引き神話	6月21日	藤岡 大拙（元学長・名誉教授）	112
		比売崎伝説と意宇郡の地名神話・伝説	7月19日		
		加賀神崎神話と嶋根・秋鹿・橋縫部の地名伝説	8月30日		
		綾門日女命・真玉着玉之邑日女命神話と出雲・神門郡の地名神話・伝説	9月20日		
		熊谷・三沢地名神話と飯石・仁多・大原郡の地名・伝説	9月27日		
3	椿の道読書会（全9回）	5月20日～2月17日	北井 由香（松江キャンパス図書館）	20	
4	はじめての古文書（全5回）	5月30日～12月19日	杉 岳志（地域文化学科）	11	
5	古文書を読む（全4回）	6月27日～1月23日	杉 岳志（地域文化学科）	10	
6	柔道あそび in English	8月6日	西村 健一（保育教育学科） ダスティン キッド（総合文化学科） 植波 翔（てんとう虫カルチャースクール）	2	
7	柔道で健康生活！～転倒・骨折予防～	8月6日	西村 健一（保育教育学科） 福田 悟（松江北高等学校柔道部コーチ）	7	
8	地域社会の心理学III（全3回）	9月26日 10月4日 10月25日	飯塚 由美（保育学科）	24	
9	しまね消費生活まちづくり講座（全2回）	安心できる消費生活環境のつくり方	6月13日	藤居 由香（地域文化学科）	9
		資源豊かな島根産の景観材料の魅力	7月11日		
10	ワープロソフト Word で作る簡単なチラシ（全4回）	ワードの基本操作・設定	5月22日	小倉 佳代子（非常勤講師）	12
		画像の加工・文字の配置	5月29日		
		チラシ作成	6月5日		
		チラシ完成・印刷の設定	6月12日		
11	資格取得を目指す、表計算ソフト Excel 初級講座（全8回）	セル・行・列の操作、計算式	5月20日	小倉 佳代子（非常勤講師）	14
		関数①	5月27日		
		関数②	6月3日		
		表の作成	6月10日		
		並べ替え	6月17日		
		グラフの作成	6月24日		
		「コンピュータサービス技能評価試験表計算部門3級」試験対策①	7月1日		
「コンピュータサービス技能評価試験表計算部門3級」試験対策②	7月8日				
12	資格取得を目指す、ワープロソフト Word 応用講座（全10回）	ワード操作の確認、ファイル・フォルダ操作	10月2日	小倉 佳代子（非常勤講師）	13
		文字入力・編集	10月9日		
		書式設定、インデント	10月16日		
		段組み、作表	10月23日		
		複雑な作表	10月30日		
		図形・テキストボックスを利用した地図作成	11月6日		
		画像の配置、ページ設定	11月13日		
		「コンピュータサービス技能評価試験ワープロ部門2級」試験対策①	11月20日		
		「コンピュータサービス技能評価試験ワープロ部門2級」試験対策②	11月27日		
		「コンピュータサービス技能評価試験ワープロ部門2級」試験対策③	12月4日		
		試験	12月11日		

Nº	講座名	開催日	講師	受講者数	
13	表計算ソフト Excel の住所録とワープロソフト Word で作る年賀状（全3回）	ワードではがきの裏面を作成	10月5日	小倉 佳代子（非常勤講師）	16
		エクセルで住所録を作る	10月12日		
		裏面の完成とエクセルの住所録を利用した宛名印刷	11月9日		
14	文化資源探究講座：平田の町と浦を訪ねる	11月23日	小泉 凡（名誉教授） 岡部 康幸（非常勤講師）	19	
15	社会的養護と島根県の里親（全2回）	社会的養護と島根県の里親～制度と現状～	5月12日	藤原 映久（保育教育学科）	9
		里親養育の実際～里親さんと語ろう～	5月19日	島根県内の里親さん	
			(人)	372	

教育課程のための地域の施設・機関との連携

①令和元年度 保育教育学科実習実施施設・機関

区分	所在	施設・機関名	備考
保育所	松江市	松江市立城東保育所、松江市立白瀧保育所、嵩見保育所、しらとり保育所、松江ナザレン保育園、松江認定こども園、みどり保育所、袖師保育所、虹の子保育園、愛恵保育園、しらゆり保育園、なの花保育園、なかよし保育園、あおぞら保育園、にじいろ保育園、こばと保育園、ふたば古志原こども園、わかたけ保育園	1年秋学期・保育実習Ⅰ（保育所）
	出雲市	みなみ保育所、ひまわり第2保育園、出雲サンサン保育園	
	雲南市	雲南市立大東保育園	
	奥出雲町	八川保育所	
	安来市	安来市立認定こども園安田、安来市立安来保育所	
児童福祉施設等	松江市	島根県中央児童相談所、松江赤十字乳児院、島根東光学園、松江学園、東部島根医療福祉センター、国立病院機構松江医療センター、児童発達支援センターやましろ、児童発達支援センターのぎ、島根県立わかたけ学園、しのめ寮	2年春学期・保育実習Ⅱ（施設）
	出雲市	児童心理療育センターみらい	
	安来市	安来学園	
	浜田市	聖煌寮、こくぶ学園	
	隠岐の島町	仁万の里	
	米子市	米子聖園ベビーホーム	

②令和元年度 保育学科実習実施施設・機関

区分	所在	施設・機関名	備考
保育所	松江市	松江市立出雲郷保育園、松江市立城東保育所、松江市立白瀧保育所、こばと保育園、しらゆり千鳥保育園、袖師保育所、なの花保育園、乃木保育所、ひよし第2保育園、ふたば第二こども園、松尾保育園、松原保育園、わかたけ保育園、しらゆり保育園、ふたば古志原こども園、なかよし保育園、つわぶきこども園、みどり保育所、虹の子保育園、みずうみ保育園、松江認定こども園、松江ナザレン保育園、法吉保育所、嵩見保育所、しらとり保育所、愛恵保育園	1年春学期・保育実習ⅠA（保育所） 2年春学期・保育実習Ⅱ（保育所）
	出雲市	出雲市立直江保育所、出雲スマイル保育園、なかの保育園、ほくよう保育園、みなみ保育所	
	雲南市	みなみかも保育園	
	安来市	安来市立認定こども園大塚、あかえこども園、みゆき保育園、安来市立安来保育所	
	江津市	あざりこども園	
	益田市	須子保育園、緑ヶ丘保育所、益田ひかり保育所	
	隠岐の島町	原田認定こども園	
	米子市	米子市崎津保育園、いづみ保育園、仁慈保育園、福米保育園、大和保育園、夜見保育園、加茂保育園	
	鳥取市	鳥取市立みやこ保育園	
	広島県広島市	順正寺こども園	
児童福祉施設等	松江市	松江赤十字乳児院、島根東光学園、双樹学院、松江学園、東部島根医療福祉センター、国立病院機構松江医療センター、児童発達支援センターやましろ、児童発達支援センターのぎ、島根県立わかたけ学園、しのめ寮、センターはばたき	2年春学期保育実習ⅠB（施設）、 保育実習Ⅲ（施設）
	出雲市	児童心理療育センターみらい	
	安来市	安来学園、櫻苑	
	浜田市	聖煌寮、こくぶ学園	
	隠岐の島町	仁万の里	
	米子市	米子聖園ベビーホーム	

区分	所在	施設・機関名	備考
幼稚園	松江市	松江市立幼保園のぎ、松江市立古志原幼稚園、松江市立城西幼保園、松江市立中央幼稚園、松江市立城北幼稚園、松江市立玉湯幼稚園、松江市立忌部幼稚園、松江市立古江幼稚園、松江市立大野幼稚園、松江市立やくも幼保園、松江市立竹矢幼稚園、松江市立揖屋幼稚園、松江市立意東幼稚園、松江市立出雲郷幼稚園、育英幼稚園、育英北幼稚園、松江暁の星幼稚園	2年春学期・秋学期・教育実習
	安来市	安来市立安来幼稚園、安来市立能義こども園、安来市立認定こども園荒島	
	出雲市	認定こども園光幼保園、出雲市立西野幼稚園、出雲市立東幼稚園、出雲市立今市幼稚園、出雲市立長浜幼稚園	
	雲南市	雲南市立大東こども園	
	米子市	認定こども園みずほ幼稚園、西部あおば幼稚園、認定こども園かいけ心正こども園、かもめ幼稚園、認定こども園あけぼの幼稚園	
	倉吉市	認定こども園倉吉幼稚園	

授業における連携（ゲストスピーカー、非常勤講師、見学先等）

学科	授業名	連携先
全学	しまね文化論	島根県／松江市／出雲大社／万九千神社／島根県立三瓶自然館／松江歴史館／石見銀山資料館／しまね文化振興財団／隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会／株式会社田部／中村茶舗／一文字家／中村プレイス株式会社／石見銀山ガイドの会／東芝国際交流財団
全学	しまねボランティア研修	島根県立青少年の家サン・レイク
保教	社会的養護	しまね CAP
保教	肢体不自由児指導論	リコージャパン株式会社 松江事業所（島根支社）
地文	観光と文化	松江歴史館
地文	地域文化論Ⅱ（出雲）	万九千神社／佐太神社／鹿島歴史民俗資料館
地文	観光と地域資源	株式会社田部／一般社団法人鉄の歴史村地域文化研究所／菅谷高殿・山内生活伝承館／松江歴史館／東芝国際交流財団
地文	しまね民俗探訪	雲南市入間花田植え実行委員会／雲南市入間コミュニティ協議会／松江市島根公民館
地文	日本文化論Ⅰ（居住文化）	松江市美保関（国土交通省超長期住宅先導的モデル事業橋津屋・佛谷寺）
地文	しまねのまちづくり	松江市政策部・都市整備部／江津市都市計画課／出雲市男女共同参画センター（防災）／出雲市大津コミュニティセンター／公益社団法人消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会／国土交通省出雲河川事務所／大橋川コミュニティセンター
地文	地域文化論Ⅳ（地域資源）	松江市出雲玉作資料館／荒神谷博物館／株式会社小松製菓（南部せんべい蔵手屋）社長小松豊氏
地文	キャリアデザインⅠ	島根県商工労働部・島根県中小企業家同友会
地文	キャリアデザインⅡ	島根県中小企業家同友会
地文	インターンシップ	ジョブカフェしまね
地文	Kids' English	松江市立乃木小学校
地文	しまね文学探訪	小泉八雲記念館／斎藤茂吉鴨山記念館（美郷町）／森鷗外記念館（津和野町）
地文	読み聞かせの実践	松江市立幼保園のぎ／松江市立乃木小学校
地文	まちづくりと協働	株式会社メディアスコープ 営業企画部長 中村和可子氏
地文	観光まちづくり論	公益財団法人松江市観光振興公社 専務理事 乙部明宏氏
地文	観光まちづくり演習	一般社団法人木綿街道振興会
保育	社会的養護内容	松江地区里親会
保育	健康スポーツⅠ	島根県スポーツレクリエーション祭（フォークダンス大会）・島根県教育庁保健体育課
総文	健康スポーツⅠ	島根県スポーツレクリエーション祭（フォークダンス大会）・島根県教育庁保健体育課
総文	インターンシップ	ジョブカフェしまね
保育 総文	キャリア・プランニング	松江市役所／東京靴株式会社／モルツウェル株式会社／島根トヨタグループ／株式会社イーウェル／しまね女性センター／株式会社島根人材育成／株式会社 DISCO／ジョブカフェしまね／島根県中小企業家同友会／ハローワーク（順不同）

2015-2019

地域志向研究活動一覧（平成27～令和元年度）

学科名	vol.8 掲載 頁	研究タイトル(研究年度) ※ H27～H29は編成前の学科へ記載 研究助成等	学内研究者名、または授業担当者名（役職名は該当最終年度現在） 連携研究者（機関・協力者）
-----	------------------	---	---

保育 教育学科		ICTを活用した特別支援教育力向上の取り組み～島根県立大学×隠岐(OKI)の島プロジェクト～(R1～) 北東アジア地域学術交流研究助成金	西村健一准教授 隠岐の島町教育委員会/沖ワークウェル
		柔道の道場に在籍する「特別な配慮を要する児童生徒(発達障害等を含む)」の実態と支援に関する調査(H30～) 教員個人研究費	西村健一准教授
		海外における障害者(児)の柔道支援の実態について～国際交流の現場における調査～(H30) 学術教育研究特別助成金研究	西村健一准教授
		児童養護施設を対象とした継続的な研修の実施(R1～) 教員個人研究費	藤原映久准教授 島根県(浜田児童相談所)/児童養護施設 聖唹寮
		放課後等デイサービスを利用する子どもたちの状況とニーズに関する調査(H30～) 教員個人研究費	藤原映久准教授 松江市内の放課後等デイサービス
		里親向け養育支援研修会に関する実践研究(H29～) 学術教育研究特別助成金(個人研究)/教員個人研究費	藤原映久准教授 島根県(中央児童相談所)・松江地区里親会/松江地区里親会
地域 文化学科		児童養護施設職員向け養育支援プログラムの開発と実施(H27～) 学術教育研究特別助成金研究(個人研究)/教員個人研究費	藤原映久准教授 島根県(中央児童相談所)/児童養護施設 安来学園
		図画工作科における身体性の可視化がもたらす教育効果の研究(H30) 学術教育研究特別助成金(個人研究)	福井一尊准教授 岡山県
		地域資源の探究・保存・継承を通じた初等教育の理論と実践に関する研究(H30) 学術教育研究特別助成金(共同研究)	矢島毅昌准教授/福井一尊准教授/キッド ダスティン講師
		山陰の餅に関する研究(R1～) 教員個人研究費	塩谷もも准教授
		島根半島における当屋交代儀礼(ヨメノイ神事)の研究(R1～) 教員個人研究費	中野洋平講師 公益財団法人いづも財団
		松江市島根町における伝承地名に関する研究(R1～) 受託研究	中野洋平講師 島根地域まちづくり協議会
	11	海士町における民具の保存と利活用に関する研究(R1～) しまね地域研究センタープロジェクト研究助成金	中野洋平講師 海士町教育委員会
		出雲神楽の研究(H30～) 島根県古代文化センターテーマ研究	中野洋平講師 島根県古代文化センター
		隠岐における社家神楽の再検討(H30) 学術教育研究特別助成金(個人研究)	中野洋平講師
		加賀旧藩戸における賽の河原霊場形成に関する研究(H30) 教員個人研究費	中野洋平講師
		民俗学による地域理解と地域志向教育(H30) 教員個人研究費	中野洋平講師
	松江市学校図書館政策の形成過程(R1) 学長裁量経費(若手支援枠)	木内公一郎講師/石井大輔准教授	
	鳥取県学校司書配置政策に関する研究(H30) 教員個人研究費	木内公一郎講師	
	観光まちづくりの担い手組織のあり方に関する研究(H30) 教員個人研究費	竹田茉莉耶講師	

	戦後松江における観光行政の展開(H28～) 科学研究費補助金・基盤研究C	工藤泰子教授 松江市史料編纂室
	島根県の歴史的町並み景観と住宅の維持保全に関する研究(H26～) 教員個人研究費	藤居由香准教授
	島根県における伝説の研究(H27～) 教員個人研究費	山村桃子准教授
	『出雲国風土記』研究(H25～) 学術教育研究特別助成金研究	山村桃子准教授
	『古事記』作品研究(H24～) 教員個人研究費	山村桃子准教授
保育学科	中学校保健体育教員を対象にしたダンス指導の研修プログラム開発 ～教材理解の促進に焦点をあてて～(H30～) スポーツ庁武道等指導充実・資質向上支援事業	梶谷朱美教授 島根大学教授 廣兼志保/島根県教育庁保健体育課指導主事 /吾郷修治
	運動遊びにおけるプレーリーダーとしての保育者の役割についての研究～雲南市立幼稚園・保育所(園)・認定こども園の実践を中心として～(H30～) 学術教育研究特別助成金(個人研究)	梶谷朱美教授 雲南市教育委員会・雲南市子ども政策局・雲南市身体教育医学研究所うんなん・雲南市内18幼稚園・保育所(園)・認定こども園・雲南市子ども政策局子ども政策課 藤原洋子・雲南市身体教育医学研究所うんなん 西川喜久子・のぞみ保育設計研究所長 野津道代
	学生の主体的な学びの形成に資する保育者養成プログラムの構築(H30) 学術教育研究特別助成金(共同研究)	梶谷朱美教授/渡邊寛智講師/中井悠加講師/小山優子准教授(保育教育学科)
	学生の主体的な学びの形成に資する保育者養成プログラムの構築(R1～)	梶谷朱美教授/渡邊寛智講師/小林美沙子講師/小山優子准教授(保育教育学科)
	6 島根県における障がい者アート作品による障がい理解拡充に向けた研究(H29) 学術教育研究特別助成金(個人研究)	福井一尊准教授 島根県/島根県社会福祉協議会
	初等図画工作科と生活科の複合的観点から捉えた地域資源についての研究(H29) 学術教育研究特別助成金(共同研究)	福井一尊准教授/矢島毅昌准教授
	保小中地域連携による「ふるさと基盤教育」の実証研究(H28～H29) 益田市・島根県立大学共同研究事業	山下由紀恵教授/鹿野一厚教授/矢島毅昌准教授/福井一尊准教授 益田市教育委員会/益田市保育研究会
	保育・発達支援における「うた遊び手帳」導入研究(H28～H29) 学術教育研究特別助成金(共同研究)	山下由紀恵教授/梶間奈保講師/矢島毅昌准教授 松江市立榎屋幼稚園長 秦昌子/松江市立城東保育所長 福頼美恵子
	川本町におけるインクルーシブ相談支援ファイル開発プロジェクト(H27～H29) 北東アジア地域学術交流研究助成金(地域貢献プロジェクト)研究	山下由紀恵教授 川本町教育委員会(川本町立川本小学校・川本町特別支援連携協議会)/社会福祉法人川本福祉会(川本保育所・因原保育所・川本北保育所)
	保小中連携によるwebシズマップを活用した「ふるさと教育」の開発(H27～H28) 益田市・島根県立大学共同研究事業/北東アジア地域学術交流研究助成金(地域貢献プロジェクト)研究	山下由紀恵教授/鹿野一厚教授/矢島毅昌講師/福井一尊准教授 益田市教育委員会/益田市保育研究会
	島根県における子ども・子育て支援新制度開始の動向(H27) 学術教育研究特別助成金(共同研究)	山下由紀恵教授/岸本強教授/藤原映久准教授 島根県健康福祉部青少年家庭課/松江市教育委員会生涯学習課/益田市教育委員会社会教育課
	民話蘇生研究 一匹見の民話の伝承～(H27) 学術教育研究特別助成金(共同研究)	山下由紀恵教授/岩田英作教授/高橋純教授 島根大学名誉教授 田中瑩一/益田市教育委員会/益田市立一匹見中学校/益田市立道川小学校/道川公民館
音への興味関心を育む研究 一「音の絵本」をとおして～(H27～H28) 学術教育研究特別助成金研究/教員個人研究費	梶間奈保講師	
地域の自然と児童文化財を活用した保育者養成プログラムの原理と方法に関する研究(H26～H28) 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)	矢島毅昌講師	
総合文化学科	フォニックス教材開発及び作成(H28) 学術教育研究特別助成金(共同研究)	ラング クリス准教授/キッド ダスティン講師/小玉容子教授
総合文化学科	父親による読み聞かせの実態(H28) 学術教育研究特別助成金(共同研究)	岩田英作教授/マユアキ教授/尾崎智子司書/内田絢子司書 本学非常勤講師 岡本千佳子

総合文化学科	島根の民話の保存と整理 一ふるさと郷育(教育)への活用に向けて～(H28) COCしまね地域共育・共創研究助成金研究	岩田英作教授 島根大学名誉教授 田中瑩一
	志賀直哉『濠端の住まい』に見る(自然) 一松江がもたらしたもの～(H28) 教員個人研究費	岩田英作教授
	芥川龍之介の松江体験 一失恋と『羅生門』誕生のあいだで～(H28) 教員個人研究費	岩田英作教授
	島根の民話の保存と整理 一石見地方の民話の語り手について～(H27) 学術教育研究特別助成金研究	岩田英作教授
	戦後復興期における松江の観光に関する研究(H27) 学術教育研究特別助成金研究	工藤泰子准教授 松江市史料編纂室
	松江市の観光振興に向けた取組み 一地域志向科目における実践～(H27) COCしまね地域共育・共創研究助成金研究	工藤泰子准教授 NPO松江ツーリズム研究会
	小学校での「英語読み聞かせ」活動の英語学習に対する効果と、小・中学校における英語多読の導入の方法および効果(H27) COCしまね地域共育・共創研究助成金研究	小玉容子教授/キッド・ダスティン講師
	「読みメン」の実態調査 ～男性の育児参加の向上をめざして～(H27) COCしまね地域共育・共創研究助成金研究	岩田英作教授/マユアキ教授/尾崎智子司書/内田絢子司書 本学非常勤講師 岡本千佳子
	『出雲国風土記』の英訳研究(H26～H29) 学術教育研究特別助成金(共同研究)(H29)/COCしまね地域共育・共創研究助成金研究(H26～H28)	松浦雄二教授/ラング・クリス准教授/山村桃子講師/キッド・ダスティン講師 島根県立大学短期大学部名誉教授 藤岡大拙

地域志向教育活動一覧 「地域研究と教育 vol.8」

学科名	vol.8 掲載 頁	タイトル(教育活動年度)	学内研究者 連携研究者(機関・協力者)
保育教育学科		とよかわSE(Special Education)塾(R1)	西村健一准教授 益田市教育委員会 小石伸江/豊川保育園 河野利文
		特別支援教育研修(R1)	西村健一准教授 松江子育て支援センター
		3Dプリンター 支援具展示会(R1)	西村健一准教授 社会福祉法人 ふらっと/リコージャパン株式会社 松江事業所
		ダイバーシティキャンプ イン かみくの桃源郷(R1)	西村健一准教授 しまね四季の学び舎
		テレプレゼンスロボットを活用した特別支援教育(R1)	西村健一准教授
		3Dプリンター 支援具展示会(R1)	西村健一准教授
		スペシャルオリンピックス島根 柔道コーチ(R1)	西村健一准教授 スペシャルオリンピックス日本
		全国の特別支援学校をつなぐ遠隔社会見学(R1)	西村健一准教授 隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会/島根県立隠岐養護学校
		「結いとうろ」灯籠制作(H30～)	福井一尊准教授 島根県庁
	6	小学校での「図画工作」特別授業(H30～) 文化庁派遣事業	福井一尊准教授 島根県民会館/岡山県文化連盟
	6	島根県障がい者アート作品展(H30～)	福井一尊准教授 島根県/島根県社会福祉協議会

	松江市保育研究会造形展(H30～)	福井一尊准教授 松江市
	島根県保育所(園)・幼稚園造形研究会(H30～)	福井一尊准教授 島根県
	松江市幼稚園・保育所・認定こども園職員研修会(R1～)	梶間奈保講師 松江市子育て部子育て政策課
	松江市幼稚園教育研究会研修会(R1～)	梶間奈保講師 松江市幼稚園教育研究会 表現を育てる部会
	訪問学級音楽鑑賞会の実施(R1～)	西村健一准教授/梶間奈保講師 白兔養護学校(鳥取県鳥取市)訪問学級
	小学校での音楽活動の指導補助(H30～)	梶間奈保講師 松江市立乃木小学校
5	教員養成学校における音楽教育プログラム「おんがくとあそぼう」の取り組みについて(H30～)	梶間奈保講師 松江市立忌部小学校/松江市立乃木小学校/松江市立幼保園のぎ
	絵本の読み聞かせを通じた保育者・教育者の育成(H30～) おはなしレストランライブラリー・乃木小学校・幼保園のぎでの実践	中井悠加講師 松江市立乃木小学校/松江市立幼保園のぎ
	松江市保育研究大会(H26～)	小山優子准教授/矢島毅昌准教授 松江市
4	第46回ほいくまつり(S49年～) 全人的保育教育者養成を目指して	保育教育学科教員 しまね文化振興財団
地域文化学科	日本文化コース専門科目(R1～) 日本文化論Ⅰ(居住文化)	藤居由香准教授 松江市美保関:橋津屋(住宅)・佛谷寺
	10 出雲の神話と伝説(R1～) 古典文学Ⅰ(神話と伝説)	山村桃子准教授
	松江で学ぶお茶の文化(R1～) 日本文化演習Ⅰ(茶道)	和泉宗澄非常勤講師/山村桃子准教授 石倉宗睦(茶道部講師)/学校茶道連絡協議会
	8 小学校での英語絵本の読み聞かせ(R1～) —キッズイングリッシュ—	ラング・クリス准教授 松江市立乃木小学校
	地域の文化の体験(H30～) しまね文学探訪	岩田英作教授
	地域の文化の体験(H30～) しまね歴史探訪	杉岳志准教授
	地域の文化の体験(H30～) しまねのまちづくり	藤居由香准教授 国土交通省・松江市・出雲市・江津市
	地域の文化の体験(R1～) しまね民俗探訪	中野洋平講師
	地域の文化の体験(H30～) スタートアップセミナーⅠ・Ⅱ	地域文化学科教員
	地域の文化の発見(H30～) 地域文化論Ⅰ(小泉八雲)	小泉凡本学名誉教授 小泉八雲記念館
	8 地域の文化の発見(H30～) 地域文化論Ⅱ(出雲)	工藤泰子教授/杉岳志准教授/山村桃子准教授/キッド・ダスティン准教授(総合文化学科) 佐太神社・万九千神社・鹿島歴史民俗資料館
	地域の文化の発見(H30～) 地域文化論Ⅲ(山陰)	中野洋平講師
	地域の文化の発見(H30～) 地域文化論Ⅳ(地域資源)	藤居由香准教授 出雲玉作資料館・荒神谷遺跡及び博物館
	地域の文化の活用(H30～) 観光と地域資源	工藤泰子教授 株式会社田部/鉄の歴史村地域文化研究所
	しまねの文化を知る(H30～) しまね文化論	工藤泰子教授 島根県ほか

保育学科	松江市小学校表現運動発表会・浜田市創作ダンス発表会(H30～) ダンス大好き!豊かに表現する子どもの育成を願って	梶谷朱美教授 松江市教育研究会小学校体育部・浜田市学校体育研究連合会
	島根県学校ダンス指導者研修会(H30～) スポーツ庁武道等指導充実・資質向上支援事業	梶谷朱美教授 島根県
	島根県学校ダンス授業研究会(H30～) スポーツ庁武道等指導充実・資質向上支援事業	梶谷朱美教授 島根県
	島根県中学校体育教員武道・ダンス研修会(H30～) スポーツ庁武道等指導充実・資質向上支援事業	梶谷朱美教授 島根県
	15 「学生と保育者のための運動遊びハンドブック」を活用した雲南市保育者研修会(H30～)	梶谷朱美教授 雲南市教育委員会・雲南市子ども政策局・雲南市身体教育医学研究所うんなん
	ふるさとに伝承する民謡の発掘と地域の活性化を目指して(H30～) 雑賀音頭の再創造	梶谷朱美教授 松江市雑賀町 松江市立雑賀小学校/雑賀公民館(館長:赤木直行)
	13 声楽研究分野における地域貢献活動(H30～)	渡邊寛智講師
	12 キッズランドの取り組み(H30～) 保育内容演習Ⅰ・Ⅱ	梶谷朱美教授/渡邊寛智講師/小林美沙子講師/小山優子准教授(保育教育学科)
	12 キッズシアターの取り組み(H30～) 保育内容演習Ⅰ・Ⅱ	梶谷朱美教授/渡邊寛智講師/小林美沙子講師/小山優子准教授(保育教育学科)
	総合文化学科	島根の神話と和歌を学ぶ(R1～) —文学と文化Ⅲ(日本古典文学)—
16 フィールドワークへのいざない(H30～) —総合文化研修計画Ⅰ・総合文化研修Ⅰ—		総合文化学科教員
松江のお勧めをポスターで紹介(H30～) 総合文化基礎ゼミナール		総合文化学科教員
絵本の読み聞かせ(H30～) —読み聞かせの実践—		岩田英作教授(地域文化学科)
八雲の原文に触れる(H30～) —英米文化持論へるん—		松浦雄二教授(地域文化学科)
異文化交流を通じて松江を知る(H30～) —異文化理解演習—		塩谷もも准教授(地域文化学科)
17 島根の魅力を英語で発信(H26～) —文化とガイド—		キッド・ダスティン准教授
地域資源としての小泉八雲をフィールドで学ぶ(H26～) —へるん探求—		松浦雄二教授(地域文化学科)

地域連携（貢献）活動の取組状況

1 講演会講師等

№	教員名	依頼先	内容（テーマ等）	日付
1	岸本 強 (保育教育学科教授)	松苑会（松江 C 卒業生会）	松苑会代議員総会講演会講師「県立大学松江キャンパスの過去・現在・未来」 参加者：80 名程度	令和元年 11 月 17 日
2	岸本強 (保育教育学科教授)	島根県 (環境生活部スポーツ振興課)	～東京 2020 応援プログラム～女子マラソンメダリスト有森裕子講演会 1 部講演会講師「する みる ささえる 島根とスポーツ」 参加者 500 名程度	令和元年 12 月 1 日
3	高橋 泰道 (保育教育学科教授)	松江市立乃木小学校	中国地区小学校理科教育研究大会松江大会授業校における授業研修会の指導助言、講演 参加者各約 30 名	令和元年 6 月 20 日・7 月 2 日・7 月 4 日・7 月 5 日・10 月 4 日・10 月 25 日・10 月 29 日・10 月 30 日
4	高橋 泰道 (保育教育学科教授)	松江市立忌部小学校	中国地区小学校理科教育研究大会松江大会授業校における授業研修会の指導助言、講演 参加者約 15 名	令和元年 7 月 4 日
5	高橋 泰道 (保育教育学科教授)	松江市立中央小学校	中国地区小学校理科教育研究大会松江大会授業校における授業研修会の指導助言 参加者約 20 名	令和元年 6 月 19 日・10 月 1 日
6	高橋 泰道 (保育教育学科教授)	松江市立雑賀小学校	中国地区小学校理科教育研究大会松江大会授業校における授業研修会の指導助言、講演 参加者約 15 名	令和元年 6 月 3 日・6 月 11 日・7 月 4 日・8 月 23 日・10 月 24 日
7	高橋 泰道 (保育教育学科教授)	島根県小中学校理科教育研究会	中国地区小学校理科教育研究大会松江大会における全体講評 参加者約 200 名	令和元年 11 月 25 日
8	高橋 泰道 (保育教育学科教授)	JAET 全日本教育工学研究協議会 雲南市立木次中学校	第 45 回 JAET 全日本教育工学研究協議会全国大会（島根大会）授業校における授業研修会、及び大会当日の指導助言 参加者約 40 名	令和元年 5 月 20 日・6 月 3 日・6 月 24 日・9 月 10 日・9 月 12 日・10 月 18 日
9	高橋 泰道 (保育教育学科教授)	出雲市立四絡小学校	中国地区小学校生活科総合的な学習教育研究大会出雲大会授業校における授業研修会、及び本大会日の指導助言 参加者約 30 名	平成 31 年 4 月 26 日・令和元年 6 月 6 日・10 月 8 日・10 月 24 日・10 月 31 日
10	高橋 泰道 (保育教育学科教授)	松江市・安来市小学校生活科部会	松江市安来市小学校生活科部会夏季研修会指導講師「生活科における指導と評価の一体化」 参加者約 30 名	令和元年 7 月 31 日
11	高橋 泰道 (保育教育学科教授)	島根県教育センター	小学校理科講座の講演、指導助言 参加者 30 名	令和元年 7 月 23 日～24 日
12	高橋 泰道 (保育教育学科教授)	益田市保育研究会環境部会	益田市保育研究会環境部会研修会で講演、参加者 50 名	令和元年 10 月 23 日
13	高橋 泰道 (保育教育学科教授)	島根県メディア教育研究会	ICT を活用した授業作り自主研修会で指導助言、参加者約 30 名	令和元年 9 月 28 日
14	高橋 泰道 (保育教育学科教授)	JAPET&CEC	School Innovation セミナー in 山陰まつえ パネルディスカッション②「教員の負担を減らす手立てと ICT」コーディネーター、参加者約 100 名	令和元年 8 月 7 日
15	齊藤 一弥 (保育教育学科教授)	出雲市教育研究会	第 6 回算数授業力向上セミナー IN いずも 鼎談講師「新学習指導要領が目指す算数授業」 参加者 300 名	令和元年 7 月 31 日
16	齊藤 一弥 (保育教育学科教授)	出雲算数研究会	出雲算数研究会研修会 講話講師「新学習指導要領の主旨を生かした算数科の授業づくり」 参加者 100 名	令和 2 年 2 月 29 日
17	園山 繁樹 (保育教育学科教授)	日本臨床発達心理士会島根県支部	日本臨床発達心理士会中国・四国支部第 52 回研修会（講演）講師「場面緘黙の理解と支援」 参加者：80 名	令和元年 10 月 5 日
18	園山 繁樹 (保育教育学科教授)	社会福祉法人島根県社会福祉事業団	光風園 50 周年記念事業（シンポジウム）コーディネーター「障がいがある人もない人も暮らしやすい地域～私たちに求められるもの～」 参加者：80 名	令和元年 11 月 9 日

№	教員名	依頼先	内容（テーマ等）	日付
19	園山 繁樹 (保育教育学科教授)	島根県自閉症協会	島根県自閉症協会研修会講師「応用行動分析から学ぶ自閉スペクトラム症の支援」 参加者：40 名	令和元年 11 月 10 日
20	園山 繁樹 (保育教育学科教授)	鳥取県立皆成学園（鳥取県発達障がい者支援センター「エール」）	令和元年度発達障がい普及啓発講演会講師「場面緘黙（かんもく）と発達障がい～ライフステージを通じた理解と対応～」 参加者：170 名	令和元年 11 月 23 日
21	内山 仁志 (保育教育学科准教授)	子どもの読み書きを支える会	出雲圏域子どもの読み書き勉強会 講師「読字検査評価法と読字困難児の支援法について」 参加者：10 名	平成 31 年 4 月 27 日
22	内山 仁志 (保育教育学科准教授)	子どもの読み書きを支える会	出雲圏域子どもの読み書き勉強会 講師「T 式ひらがな音読支援の実際」 参加者：30 名	令和元年 6 月 15 日
23	内山 仁志 (保育教育学科准教授)	出雲市教育委員会	市教特別支援教育 B 部会 研修会講師「学習の基礎となる感覚・認知について」 参加者：109 名	令和元年 7 月 31 日
24	内山 仁志 (保育教育学科准教授)	益田市教育委員会	令和元年度第 2 回益田市特別支援教育支援員研修会および令和元年度第 2 回通級指導教室・日本語指導運営協議会 講師「特異的発達障害の理解と指導・支援～脳科学の立場から～」 参加者：80 名	令和元年 12 月 3 日
25	小山 優子 (保育教育学科准教授)	島根県社会福祉協議会	平成 30 年度保育士キャリアアップ研修（幼児教育）	平成 31 年 2 月 18 日～19 日
26	小山 優子 (保育教育学科准教授)	島根県社会福祉協議会	令和元年度保育士キャリアアップ研修（幼児教育）	令和元年 6 月 10 日～11 日
27	小山 優子 (保育教育学科准教授)	松江市役所	松江市保育士基礎力向上研修	令和元年 7 月 8 日
28	小山 優子 (保育教育学科准教授)	松江子育て支援センター	子育て支援者スキルアップ講座	令和元年 11 月 8 日
29	西村 健一 (保育教育学科准教授)	益田市教育委員会	保幼小連絡協議会研修講師「幼児期から児童期への発達のつまづきと支援方略について～特別支援教育の観点から～」	令和元年 9 月 6 日
30	西村 健一 (保育教育学科准教授)	益田市教育委員会	益田市就学支援研修会 講師「特別な指導および支援を必要とする子どものアセスメントの実際」	令和元年 5 月 21 日
31	西村 健一 (保育教育学科准教授)	島根県肢体不自由教育研究協議会	研修会講師「肢体不自由のある子どもたちの未来につながる教育」	令和元年 7 月 30 日
32	西村 健一 (保育教育学科准教授)	島根県教育委員会	特別支援教育研修会「発達障害のある児童生徒の理解と支援」	令和元年 7 月 5 日
33	西村 健一 (保育教育学科准教授)	鳥取県教育委員会	鳥取県内または島根県のパートナーシップ校の病弱養護学校研修会講師「チーム力を高める」	令和元年 8 月 1 日
34	西村 健一 (保育教育学科准教授)	益田市放課後児童クラブ支援員の会	研修会講師「発達障害のある児童の理解と支援」	令和 2 年 1 月 17 日
35	西村 健一 (保育教育学科准教授)	松江市子育て支援センター	研修会講師「子どもの発達を促すかわり方」	令和 2 年 1 月 24 日
36	西村 健一 (保育教育学科准教授)	日本保育協会島根県支部	キャリアアップ研修会講師	令和元年 8 月 19 日～20 日
37	福井 一尊 (保育教育学科准教授)	島根県児童養護施設協議会	全国児童養護施設協議会が実施する「児童文化奨励絵画展」の島根県内審査会において審査委員長を務める。	令和元年 8 月 7 日
38	福井 一尊 (保育教育学科准教授)	島根県保育所（園）・幼稚園造形教育研究会	島根県保育所（園）・幼稚園造形教育研究会の実施する「造形指導研修会」において講師を務める。 参加者：200 名	令和元年 11 月 29 日

№	教員名	依頼先	内容（テーマ等）	日付
39	福井 一尊 (保育教育学科准教授)	島根県／島根県社会福祉協議会	島根県が実施する「島根県障がい者アート展」において審査委員長および職員研修会の講師を務める。 参加者：50名	令和元年12月4日
40	藤原 映久 (保育教育学科准教授)	島根県人権同和対策課	人権同和問題職場研修推進員研修 講師 「子どもの権利（人権）について～子どもとともに権利を語るために～」	令和元年5月28日 令和元年6月4日
41	藤原 映久 (保育教育学科准教授)	中国地区児童施設協議会	第56回 中国地区児童養護施設研究協議会 基調講演 「今、代替的養護に求められるもの～個と集団を超えて～」	令和元年6月26日
42	藤原 映久 (保育教育学科准教授)	中国地区児童施設協議会	第56回 中国地区児童養護施設研究協議会 分科会 助言者 「施設における自立支援の在り方について」	令和元年6月27日
43	藤原 映久 (保育教育学科准教授)	邑南町保育研究会	邑南町保育研究会職員研修会 講師 「発達に偏りのある子どもたちの理解と支援」	令和元年7月9日
44	藤原 映久 (保育教育学科准教授)	島根県健康福祉部	令和元年度島根県児童相談所・市町村職員等専門研修会 講師 「子ども家庭相談援助制度及び実施体制」	令和元年9月3日
45	藤原 映久 (保育教育学科准教授)	大田市青少年育成市民会議	大田市青少年健全育成・児童虐待防止講演会 講師 「子どもに伝わる褒め方・叱り方、ほどよくできていますか？」	令和元年11月17日
46	藤原 映久 (保育教育学科准教授)	島根県東部発達障害者支援センター	島根県ペアレントメンター養成研修フォローアップコース 講師 「事例検討（インシデント・プロセスについて）」	令和元年12月10日
47	藤原 映久 (保育教育学科准教授)	島根県社会福祉士会	里親制度普及啓発講演会 講師	平成32年3月1日
48	山村 桃子 (地域文化学科准教授)	まつえ市民大学	ふるさと発見コース 第4回講師 「八岐大蛇の神話と伝承」 講義 受講者：50名	令和元年7月19日
49	梶谷 朱美 (保育学科教授)	松江市教育研究会小学校体育部	第15回松江市小学校表現運動発表会講師：発表会に参加する小学生と教員約800名を対象にダンス作品について講評、指導（島根県民会館大ホール）	令和元年11月20日
50	梶谷 朱美 (保育学科教授)	島根県教育庁保健体育課・島根県学校体育研究連合会	スポーツ庁武道等指導充実・資質向上支援事業～第55回島根県学校ダンス指導者研修会講師～（大田市仁摩農村環境改善センター）幼保小中高の教員120名を対象とした研修会講師	令和元年7月26日
51	梶谷 朱美 (保育学科教授)	島根県教育庁保健体育課・島根県学校体育研究連合会	スポーツ庁武道等指導充実・資質向上支援事業～島根県学校ダンス授業研究会講師～（大田市立久手小・大田市立北三瓶中）県内の小・中・高等学校教員対象の授業研究会指導助言	令和元年12月12日 令和2年1月16日
52	梶谷 朱美 (保育学科教授)	益田市教育研究会保健体育部	益田市教育研究会保健体育部会研修会講師：益田市立安田小学校4年生を対象に師範授業を行い教員約40名を対象に指導助言を行う。（益田市立安田小学校）	令和2年1月17日
53	梶谷 朱美 (保育学科教授)	浜田市学校体育研究連合会	浜田市学校ダンス部実技研修会講師 「表現の授業の系統的な指導について」（浜田市立国府小学校）参加者：約20名	令和元年8月5日
54	梶谷 朱美 (保育学科教授)	島根県教育庁保健体育課	スポーツ庁武道等指導充実・資質向上支援事業～令和元年度中学校保健体育教員武道・ダンス研修会講師（松江市総合体育館）～県内中学校保健体育科教員約50名を対象とした研修会講師	令和元年9月26日～27日
55	梶谷 朱美 (保育学科教授)	島根県教育庁保健体育課	令和元年度 島根県専門家・専門医による指導事業講師派遣～雲南市立西日登小学校健康教室講師～70名親子・教員	令和元年12月5日
56	梶谷 朱美 (保育学科教授)	安来市幼児教育研究会	安来市幼児教育研究会実技講習会講師（安来中央交流センター）保育士・幼稚園教諭約60名	令和元年6月18日
57	梶谷 朱美 (保育学科教授)	JAET 全日本教育工学研究協議会	第45回 JAET 全日本教育工学研究協議会全国大会（島根大会）寺領小学校会場「学級活動」指導講師	令和元年10月18日

№	教員名	依頼先	内容（テーマ等）	日付
58	梶谷 朱美 (保育学科教授)	雲南市教育委員会・子ども政策局	雲南市幼稚園、保育所（園）、認定こども園職員研修会「学生と保育者のための運動遊びハンドブック」を活用した保育者研修会講師：参加者約30名（雲南市役所204・205会議室）	令和元年8月28日（第1回目） 令和元年9月20日（第2回目）

2 審議会委員等

№	教員名	委嘱（依頼）先	役職名	期間
1	岸本 強 (保育教育学科教授)	(公財) 島根県体育協会	しまね広域スポーツセンター企画運営委員会 副委員長	平成17年9月～
2	岸本 強 (保育教育学科教授)	(公財) 島根県体育協会	常任理事 普及委員会委員長	令和元年5月～
3	岸本 強 (保育教育学科教授)	(公財) ごうぎん島根文化振興財団	評議員	平成25年5月～
4	岸本 強 (保育教育学科教授)	(公財) 松江市スポーツ振興財団	理事	平成25年6月～
5	岸本 強 (保育教育学科教授)	島根県	島根県スポーツ推進審議会 会長	平成28年12月～
6	岸本 強 (保育教育学科教授)	島根県バレーボール協会	顧問	平成29年5月～
7	岸本 強 (保育教育学科教授)	島根県	島根県国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会 検討懇話会 座長	令和元年11月～
8	岸本 強 (保育教育学科教授)	大田市	大田市学校のあり方に関する基本方針検討委員会 委員 長	令和元年6月～
9	高橋 泰道 (保育教育学科教授)	雲南市教育委員会	第4次雲南市教育基本計画策定委員 委員長	令和元年6月～ 令和2年3月31日
10	小山 優子 (保育教育学科准教授)	大田市子ども・子育て支援推進会議	大田市子ども・子育て支援推進会議委員長	平成30年2月～ 令和2年1月31日
11	小山 優子 (保育教育学科准教授)	島根県子ども・子育て支援推進会議	島根県子ども・子育て支援推進会議委員	平成30年2月～ 令和2年1月31日
12	西村 健一 (保育教育学科准教授)	島根県	障がい者スポーツ活動支援助成金 審査会委	令和元年3月～ 令和2年3月31日
13	西村 健一 (保育教育学科准教授)	日本臨床発達心理士会	島根県支部役員	令和元年4月～ 令和2年3月31日
14	西村 健一 (保育教育学科准教授)	松江子育て支援センター	松江ミニ療育活動事業検討委員	令和元年4月～ 令和2年3月31日
15	西村 健一 (保育教育学科准教授)	プレゼンカップ 中国四国ブロック	審査員	令和元年11月
16	西村 健一 (保育教育学科准教授)	島根県立緑が丘養護学校	学校評議員	令和元年5月～ 令和2年3月31日
17	福井 一尊 (保育教育学科准教授)	島根県社会福祉協議会	障がい者アートを活用した商取引に係る著作権等保護に関する検討委員会 委員長	平成26年4月1日～
18	福井 一尊 (保育教育学科准教授)	島根県	島根県障がい者文化芸術活動推進連絡協議会 会長	令和元年6月1日～
19	福井 一尊 (保育教育学科准教授)	島根県	島根県景観審議会 委員	平成30年4月1日～
20	福井 一尊 (保育教育学科准教授)	松江市	松江市保育研究会造形表現部会 顧問	平成29年4月1日～

№	教員名	委嘱（依頼）先	役職名	期間
21	福井 一尊 (保育教育学科准教授)	島根県・島根県社会福祉協議会	島根県障がい者アート作品展審査委員会 委員長	平成23年4月1日～
22	福井 一尊 (保育教育学科准教授)	島根県保育所（園）・幼稚園造形教育研究会	島根県保育所（園）・幼稚園造形教育研究会 顧問	平成19年4月1日～
23	藤原 映久 (保育教育学科准教授)	社会福祉法人つわぶき	社会福祉法人つわぶき評議員専任・解任委員会 委員	平成29年1月4日～ 令和3年1月4日
24	藤原 映久 (保育教育学科准教授)	島根県社会福祉協議会	島根県社会福祉協議会 評議員	平成29年4月1日～ 令和3年6月
29	藤原 映久 (保育教育学科准教授)	松江家庭裁判所	松江家庭裁判所委員会 委員	平成29年10月1日～ 令和元年9月30日
30	藤原 映久 (保育教育学科准教授)	松江市	松江らしい幼児教育の推進検討委員会 家庭支援ワーキンググループ座長	平成30年10月1日～ 令和2年3月31日
31	藤原 映久 (保育教育学科准教授)	島根県	島根県社会的養護推進計画策定検討委員会 委員	平成31年1月9日～ 令和2年3月31日
32	矢島 毅昌 (保育教育学科准教授)	島根県立松江商業高等学校	高校生研究発表大会審査員	令和元年8月20日
33	マユー あき (地域文化学科教授)	島根県立三刀屋高等学校	学校評議員	令和元年5月～ 令和2年3月31日
34	マユー あき (地域文化学科教授)	公益財団法人島根県育英会	理事	令和元年6月～ 令和3年6月
35	マユー あき (地域文化学科教授)	島根県	島根県情報公開審査会委員	平成26年4月～
36	マユー あき (地域文化学科教授)	島根県	島根県個人情報保護審査会委員	平成26年4月～
37	マユー あき (地域文化学科教授)	国立大学法人島根大学	人間科学部研究倫理審査委員会委員	平成30年6月～ 令和2年3月
38	工藤 泰子 (地域文化学科教授)	松江市	松江歴史館運営協議会委員	平成26年11月～
39	工藤 泰子 (地域文化学科教授)	島根県立松江商業高等学校	学校評議員	令和元年5月～ 令和2年3月31日
40	工藤 泰子 (地域文化学科教授)	松江ツーリズム研究会	観光大賞選考委員	平成30年8月～
41	塩谷 もも (地域文化学科准教授)	松江市	松江市行政改革推進委員会委員	平成28年6月～
42	藤居 由香 (地域文化学科准教授)	島根県	しまね観賞審査委員会委員	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日
43	藤居 由香 (地域文化学科准教授)	島根県	消費生活審議会委員	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日
44	藤居 由香 (地域文化学科准教授)	島根県	建設工事紛争審査会委員	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日
45	藤居 由香 (地域文化学科准教授)	松江市	都市計画審議会会長	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日
46	藤居 由香 (地域文化学科准教授)	松江市	歴史まちづくり推進協議会委員	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日
47	山村 桃子 (地域文化学科准教授)	島根県教育庁文化財課	島根県古代文化センター企画運営委員	平成26年～
48	梶谷 朱美 (保育学科教授)	島根県	島根県学校体育研究連合会副会長	平成30年5月～令和元年6月

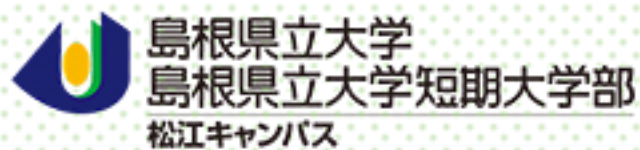
№	教員名	委嘱（依頼）先	役職名	期間
49	梶谷 朱美 (保育学科教授)	島根県	島根県学校体育研究連合会ダンス研修部会会長	平成30年5月～令和元年6月
50	梶谷 朱美 (保育学科教授)	雲南市	身体教育医学研究所うなんん運営委員会委員	平成30年4月1日～
51	梶谷 朱美 (保育学科教授)	島根県	島根県学校体育研究連合会ダンス研修部アドバイザー	平成31年1月～
52	梶谷 朱美 (保育学科教授)	雲南市	第4次雲南市教育基本計画策定委員副委員長 幼児教育部長	令和元年6月～
53	梶谷 朱美 (保育学科教授)	株式会社キラキラ雲南	雲南市加茂 B & G 海洋センタープール運営委員会委員	平成31年3月～
54	梶谷 朱美 (保育学科教授)	島根県	島根県国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会「検討懇話会委員」	令和元年11月～
55	宮下 裕一 (保育学科教授)	島根県	島根県社会的養護推進計画策定検討委員会委員	平成31年1月～
56	宮下 裕一 (保育学科教授)	島根県社会福祉協議会	しまね保育士確保・定着推進会議委員	令和元年6月～

3 教育機関（幼・小・中・高・大）との連携活動・その他地域連携（貢献）活動

№	教員名	相手方	内容等	日付（期間）
1	岸本 強（保育教育学科教授）	横田幼稚園	園内研究会 指導講師	令和元年6月20日
2	齊藤 一弥（保育教育学科教授）	出雲市立大津小学校	校内重点研究会 全体講演講師 「教科目標が目指すこれからの算数・数学の授業」	令和元年9月2日
3	齊藤 一弥（保育教育学科教授）	出雲市立西野小学校	校内重点研究会 全体講演講師 「教科目標が目指すこれからの算数・数学の授業」	令和元年11月29日
4	齊藤 一弥（保育教育学科教授）	益田市立高津小学校	校内重点研究会 全体講演講師 「算数の授業づくりの基本」「教科目標が目指すこれからの算数・数学の授業」	令和元年12月16日
5	園山 繁樹（保育教育学科教授）	松江市立竹矢小学校	湖東かんばし学園教職員研修会講師 講演「特別に配慮の必要な児童生徒への支援について」	令和元年7月25日
6	園山 繁樹（保育教育学科教授）	松江市発達・教育相談支援センター	「第1回 ほっと相談会」講師	令和元年8月25日
7	園山 繁樹（保育教育学科教授）	島根県立隠岐養護学校	研究協議会の指導・助言	令和元年10月11日
8	西村 健一（保育教育学科准教授）	島根県知事	若い世代と知事の「しまね未来トーク」の学生指導	令和元年11月
9	福井 一尊（保育教育学科准教授）	島根県児童養護施設協議会	「児童文化奨励絵画展」県内審査会 審査委員長	令和元年8月7日
10	藤原 映久（保育教育学科准教授）	島根県中央児童相談所 児童養護施設安来学園	安心・安全な児童福祉施設環境の構築に向けた連携・児童養護施設安来学園及び島根県中央児童相談所との協働の下、児童養護施設職員向け養育支援プログラムの開発と実践を行う。	平成27年4月～必要な期間
11	藤原 映久（保育教育学科准教授）	島根県中央児童相談所 松江地区里親会	里親支援における連携 松江地区里親会及び島根県中央児童相談所との協働の下、子育て支援の勉強会と里親支援学生企画交流会を開催し、里親支援を展開する。	平成29年4月～必要な期間

№	教員名	相手方	内容等	日付（期間）
12	藤原 映久（保育教育学科准教授）	島根県浜 児童相談所 児童養護施設聖唹寮	安心・安全な児童福祉施設環境の構築に向けた連携 ・児童養護施設聖唹寮園及び島根県浜田児童相談所と の協働の下、児童養護施設職員向けの継続的な研修 を実施する。	平成 31 年 4 月～必要な期間
13	梶間 奈保（保育教育学科講師）	松江市立忌部幼稚園	「親子遠足」での大学探検	令和元年 5 月 14 日
14	岩田 英作（地域文化学科教授）	島根県立横田高校	総合的な学習の時間「2 年生だんだんカンパニー」報 告会への出席	令和元年 11 月～12 月
15	塩谷 もも（地域文化学科准教授）	山陰中央新報社	『多言語で話したい！』（地域に住む外国人との交流 目的連載記事）、インドネシア語翻訳と言語・文化に 関する取材協力	平成元年 9 月～
16	藤居 由香（地域文化学科准教授）	松江市	「まちかどトーク」における松江市長との意見交換会	令和元年 11 月 25 日
17	ラング クリス （地域文化学科准教授）	松江市乃木小学校	「キッズイングリッシュ」における英語絵本の読み聞 かせ等	令和元年 10 月～11 月
18	古賀 洋一（地域文化学科講師）	島根県立松江南高校	総合的な学習の時間における研究課題発表について の助言	令和元年 6 月 12 日
19	古賀 洋一（地域文化学科講師）		令和元年度教員免許状更新講習講師	令和元年 8 月 23 日
20	古賀 洋一（地域文化学科講師）	学校法人大多和学園 開星高校	課題研究Ⅰ・Ⅱ発表会等	令和元年 4 月～令和 2 年 3 月
21	岩田 英作（地域文化学科教授） 増原 善之（地域文化学科准教授）	島根県立平田高校	文科省補助事業「地域人材育成循環システム「平田 プラタナスプラン」における多文化共生講演および 運営指導委員	令和元年 5 月 16 日・11 月 13 日・ 令和 2 年 3 月 9 日
22	梶谷 朱美（保育学科教授） 山根 繁樹（総合文化学科教授） 増原 善之（地域文化学科准教授）	島根県立出雲高校	出雲高校 1・2 年生課題研究指導	令和元年 10 月 17 日・11 月 14 日・ 令和 2 年 3 月 11 日
23	工藤 泰子（地域文化学科教授） 塩谷 もも（地域文化学科准教授） 増原 善之（地域文化学科准教授） 矢島 毅昌（保育教育学科准教授）	島根県立大社高校	総合的な学習の時間における研究課題発表について の助言	令和元年 10 月 30 日
24	宮下 裕一（保育学科教授） 工藤 泰子（地域文化学科教授） 古賀 洋一（地域文化学科講師） 中野 洋平（地域文化学科講師） 菊野 雄一郎（保育学科講師）	学校法人大多和学園 開星高校	課題研究Ⅰ・Ⅱにおける生徒の研究室訪問および 指導	令和元年 9 月 26 日
25	宮下 裕一（保育学科教授） 古賀 洋一（地域文化学科講師） 中野 洋平（地域文化学科講師） 菊野 雄一郎（保育学科講師）	学校法人大多和学園 開星高校	探求型授業校内発表会への参加とコメント	令和元年 12 月 13 日
26	増原 善之（地域文化学科准教授） 山村 桃子（地域文化学科准教授）	松江市産業経済部	JICA 青年研修におけるブータン研修生への日 文化（茶道）体験協力（茶道部）	令和元年 11 月 8 日
27	山村 桃子（地域文化学科准教授） 中野 洋平（地域文化学科講師）	松江市産業経済部	東京大学法政大学プログラムへの参画	令和元年 8 月 9 日 令和元年 8 月 12 日
28	中野 洋平（地域文化学科講師） 古賀 洋一（地域文化学科講師）	松江市島根町	「しまね寺子屋塾」への協力、教職志望学生の派遣	令和元年 7 月～8 月
29	梶谷 朱美（保育学科教授）	雲南市認定こども園 「大東こども園」	雲南市認定こども園「大東こども園子育て講演会 講師 参加者約 50 名	令和元年 7 月 3 日
30	梶谷 朱美（保育学科教授）	雲南市立寺領幼稚園	雲南市立寺領幼稚園「運動遊びと子育て講演会」講師 参加者約 30 名	令和元年 6 月 20 日

№	教員名	相手方	内容等	日付（期間）
31	梶谷 朱美（保育学科教授）	松江市子育て支援セ ンター	松江市子育て & 子育て支援のための講座講師「たま ゆつどいの広場」参加者約 30 名	令和元年 12 月 2 日
32	梶谷 朱美（保育学科教授）	松江市立雑賀小学校	松江市立雑賀小学校「雑賀音頭」指導 雑賀小学校全 校児童教職員約 300 名対象	令和元年 9 月 10 日
33	梶谷 朱美（保育学科教授）	島根県教育庁保健体 育課	島根県スポーツレクリエーション祭講師（フォーク ダンス大会）参加者約 400 名：島根県立大学松江キャン パス体育館アリーナ	令和元年 7 月 7 日
34	梶谷 朱美（保育学科教授）	島根県フォークダンス連盟	島根県フォークダンス連盟 50 周年記念大会指導（鹿 島町体育館）参加者約 600 名	令和元年 10 月 20 日
35	梶谷 朱美（保育学科教授）	松江市	松江市総合計画・総合戦略推進会議出席（市役所）	令和元年 7 月 2 日 令和元年 9 月 30 日
36	梶谷 朱美（保育学科教授）	島根県学校体育研究 連合会	島根県学校体育研究会ダンス研修会 第 1 回・第 3 回理事会アドバイザー（サンラポーむらくも）	令和元年 5 月 29 日 令和 2 年 1 月 30 日
37	梶谷 朱美（保育学科教授）	島根県教育庁教育指 導課	第 4 回市町村及び県幼児教育アドバイザー・指導主 事等合同研修会講師	令和 2 年 1 月 30 日
38	宮下 裕一（保育学科教授） 牧瀬 翔麻（保育教育学科助教）	第 2 凧北台てらこや	サークル「みんなの家」の学生による学習支援事業 への参加（「青少年地域活動チャレンジ支援事業（青 少年育成島根県民会議）」の補助金交付あり	令和元年 5 月～
39	山根 繁樹（総合文化学科教授）	島根県立矢上高校	進学ガイダンスにおける学部・学科・分野理解のため の説明「日本文学・歴史学」	令和元年 9 月 18 日
40	山根 繁樹（総合文化学科教授）	松江市立女子高校	大学の先生による出張講義	令和元年 7 月 24 日



しまね地域共生センター

Shimane Center for Enrichment through Community, The University of Shimane Junior College

T 690-0044

島根県松江市浜乃木7-24-2

TEL 0852-28-8322

FAX 0852-20-0267

<http://matsuec.u-shimane.ac.jp>